

こころの診療科

【原著論文】

- 1) Ihara H, Ogata H, Inuzuka A, Ohta N, Nagai T: Incidents of Violence and Verbal Abuse from Patients and Their Relatives against Nurses in Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital. *Dokkyo Journal of Medical Science* 37(1): 1-8, 2010.
- 2) 尾形広行, 井原裕, 犬塚彩, 多田則子, 水野基樹: 総合病院における看護師レジリエンス尺度の作成および信頼性・妥当性の検討. *精神医学* 52: 785-792, 2010.
- 3) 井原裕: 最小限の必要悪としての司法精神医学. *司法精神医学* 58(1): 55-63, 2010.
- 4) 井原裕: 思春期臨床における初回面接. *精神療法* 36(4): 472-477, 2010.
- 5) 井原裕: 治さないー思春期臨床における「病気喧伝」の回避. *臨床精神医学* 39: 1577-1581, 2010.
- 6) 井原裕: うつ病臨床における「えせ契約」(Bogus contract)について. *精神神経学雑誌* 112: 1084-1090, 2010.

【総説等】

- 1) 井原裕: セカンドオピニオン・ライブ. *こころの科学* 152: 73-79, 2010.
- 2) 井原裕: 書を捨てよ, カルテを読もう. *こころの科学* 153: 73-82, 2010.

【学術書】

- 1) 井原裕. 井原裕, 精神鑑定の乱用. 金剛出版. 2010.
- 2) 井原裕: 精神鑑定 その現状と問題点—刑法39条といわゆる「被告人の利益」. 加藤進昌, 岩波明編集, 『精神鑑定と司法精神医療』. 批評社. pp.33-63, 2010.
- 3) 井原裕: うつ 面接のコツ. 下田和孝編集, 脳とこころのプライマリケア1 うつと不安. シナジー. pp.93-101, 2010.

【研究報告等】

- 1) 井原裕: 精神鑑定とメディア. 平成21年度厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業) 研究報告書頁142-147, 2010年. pp.142-147, 2010.

【学会・研究会発表】

- 1) 井原裕: 医療安全と精神科医. いばらきこころの医療交流会, つくば市, 2010-1-29.
- 2) 井原裕: 保険病名「うつ病」のいろいろ. 北信精神科医会, 長野市, 2010-2-4.
- 3) 井原裕: 羽ばたけ, 若きシラコバト! 思春期こころの診察室から. 越谷教育委員会講演会, 越谷市, 2010-2-17.
- 4) 井原裕: 精神鑑定 その現状と課題. 第7回法と精神保健研究会, 東京, 2010-3-6.
- 5) 井原裕: 超短時間思春期臨床. 湘南精神科臨床懇話会, 藤沢市, 2010-4-10.
- 6) 井原裕: がん医療におけるコミュニケーション. 獨協医科大学越谷病院平成22年度緩和ケア研修会, 越谷市, 2010-5-16.

- 7) 井原裕: うつ病臨床における「えせ契約」について. 第106回日本精神神経学会学術総会, 広島市, 2010-5-20.
- 8) 井原裕: メディアと精神鑑定. 第6回日本司法精神医学会, 東京都, 2010-6-4.
- 9) 井原裕: 抗うつ薬に対する不満最小化への道. 明治製菓(株)MR勉強会, さいたま市, 2010-6-8.
- 10) 井原裕: 保険診療下の思春期臨床. 第53回GHP研究会講演会, 東京都, 2010-7-24.
- 11) 井原裕: 空気の読めない青春—発達障害の思春期—. 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター夏季セミナー, 越谷市, 2010-8-29.
- 12) 井原裕: 不登校の理由いろいろ. 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター夏季セミナー, 越谷市, 2010-8-29.
- 13) 井原裕: 医療従事者のレジリエンス. 第33回精神病理精神療学会, 東京都, 2010-10-7 ~ 8.
- 14) 井原裕: 思春期臨床 治す, 治さない. 湘南横浜精神医療懇話会, 横浜市, 2010-10-30.
- 15) 井原裕: “適用外?” “適応外?” 精神科臨床と保険適用. 日本医薬品情報学会フォーラム講演会, 港区, 2010-11-6.
- 16) 井原裕: 起立性低血圧と睡眠相後退症候群. 臨床小児研究会, 越谷市, 2010-11-8.
- 17) 井原裕: 被告人TMに対する殺人被告事件 鑑定人尋問. さいたま地方裁判所. 被告人TMに対する殺人被告事件 公判, さいたま市, 2010-11-29.
- 18) 尾形広行, 高橋規子: 『そこはプライベートですから』という来談者との面接過程. 日本家族研究・家族療法学会 第27回福島大会, 福島市, 2010-6-4 ~ 5.
- 19) 尾形広行, 高橋規子: 「来院動機を上げるためのWAIS-Ⅲの活用の仕方」. 日本ブリーフサイコセラピー学会 第20回長崎大会, 長崎市, 2010-8-26-28.

【新聞記事・書評等】

- 1) 井原裕: 書評: 野村総一郎著 人生案内 もつれた心ほぐします. 精神療法36: 108, 2010, 金剛出版, 2010.
- 2) 井原裕: 書評: 中田修, 小田晋, 影山任佐, 石井利文編著: 精神鑑定事例集2 (日本評論社). 精神療法36: 111-112, 2010, 金剛出版, 2010.

【テレビ・ラジオ等】

- 1) 井原裕: 思春期のこころ. きたやまおさむのレクチャー & ミュージック, NHK FM, 2010-10-4.
- 2) 井原裕: うつの人への接し方. きたやまおさむのレクチャー & ミュージック, NHK FM, 2010-10-11.

皮膚科

【原著論文】

- 1) Ohtsuka T: Response to oral cyclosporin therapy and high sensitivity-CRP level in chronic idiopathic urticaria. *Int J Dermatol* 49: 579-584, 2010.
- 2) Ohtsuka T: Combinational effect of low dose oral corticosteroid and mizoribine for ulcerative colitis in a patient with systemic sclerosis. *J Dermatol* 37: 71-74, 2010.
- 3) Ohtsuka T: Serum interleukin-6 level is reflected as elevated high sensitivity-CRP level in patients with systemic sclerosis. *J Dermatol* 37: 801-806, 2010.

【学会・研究会発表】

- 1) 片桐一元: 難治性毛包虫性痤瘡でのイベルメクチン使用経験. 第4回埼玉難治性皮膚疾患臨床研究会, さいたま市, 2010-11-6.
- 2) 宮崎怜子, 大塚勤, 片桐一元: flagellate erythema を主症状とし, 胃癌を合併した皮膚筋炎の一例. 第833回日本皮膚科学会東京地方会, 中央区, 2010-11-20.
- 3) 片桐一元: アトピー性皮膚炎と皮膚バリア. 第18回ニューロペプチド研究会, 横浜市, 2010-12-3.
- 4) 大塚勤, 片桐一元: 乾癬患者における高感度CRPとbody mass indexとの関連. 第38回獨協医学会, 下都賀郡, 2010-12-4.
- 5) 宮崎怜子, 大塚勤, 片桐一元: Dyshidrosiform pemphigoid の1例. 第834回日本皮膚科学会東京地方会, 中央区, 2010-12-18.